NUMATA

2015.07.23Vol.590

広報ぬまた７月号

7/10　北空知連合消防演習の様子

「この町に住んでよかった」と実感できる「町民参加のまちづくり」を目指して

平成２７年度町政執行方針概要

このたびの、任期満了に伴う沼田町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ多くの方々から温かいご厚情とご支援をいただき、無投票にて当選の栄に浴し、2期目の町政の重責を担わせていただくこととなりました。心より、感謝とお礼を申し上げます。

初心を忘れず新たな決意と情熱をもって、町政を進めるとともに「このまちに住んでみたい」「この町に住んでよかった」と実感できる、「町民参加のまちづくり」「今住んでいる皆さんを大切にする」行政運営に誠心誠意全力をつくす所存であります。

6月22日・23日に開催された第2回議会定例会で、金平町長が平成27年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

昨年は、開拓から120年の節目にあたり、町民の皆様が自ら企画・実行された事業を始めとする、様々な記念行事を行政と住民の連携により実行することができ、誠に思い出深い1年となりました。

本年はこれまで幾多の困難を乗り越え、現在の沼田町を築き上げられた先人の思いを胸に、新たな一歩を踏み出す年にしなければならないと、決意しているところでございます。

我が国の現状を見てまいりますと、人口増加と経済成長に支えられた右肩上がりの発展的社会から、バブル経済とその崩壊を経験し、現在は世界でも稀な急激な人口減少と高齢化の真っただ中へ向かっております。

また人口減少に由来する消費需要規模の縮小が懸念される中、政府の経済政策では、「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」により景気は緩やか回復基調にあり、物価動向はデフレ状況ではなくなっていると分析されておりますが、地方においては景気回復の実感はなく、景気の停滞感は依然として続いております。

政府は、人口減少問題を政策の中心に据え、「まち・ひと・しごと創生」を打ち出し、雇用の創出、新たな人の流れ、若者世代の結婚・子育ての希望の実現、時代にあった地域づくりを柱とした地方版総合戦略の策定により、大都市への人口の集中を是正し、人口減少の克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指しています。

本町におきましても、人口の減少に歯止めがかからない状態であり、少子化が進み出産年齢人口も減少する一方、高齢化率は上昇を続けており、本年3月には40％の大台に到達した状況となっております。

住民が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるための政策として、沼田町農村型コンパクトエコタウン構想を策定し、全国の地域活性化モデルケースとして、平成26年5月29日認定をされたところであります。

このモデルケース認定後、国において平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されたことから、地方版総合戦略を策定しモデルケースとして認定された農村型コンパクトエコタウン構想と合わせて、将来の沼田町に必要なインフラ整備とソフト事業の展開について、議会並びに住民の皆さんへの説明と、ご理解をいただいたうえで、急ぎ取り組むべきものとの選択を図り、国の財政状況も税収の伸びが見込まれてはおりますが、地方交付税を始めとする財源措置の変動も懸念されることから、過重な将来負担とならないよう財政状況を充分に踏まえた上で事業に取り組んでまいりたいと考えております。

★沼田町農村型コンパクトエコタウン構想について

農村型コンパクトエコタウン構想は、昨年5月に全国の地域活性化モデルケースに選定され、政府の政策対応チームによる総合コンサルティングや、フォローアップなど、昨年に引き続き本年も支援を受けることとなっております。

また、構想を進めるにあたり、沼田町が行う自主的かつ自立的な取り組みを国に支援してもらうため、地域再生計画を策定し提出をいたしております。

本構想を推進しようとする背景には、人口の減少や少子高齢化問題があり、本町においても、団塊の世代が75歳となる平成37年には、後期高齢者人口、介護認定者数及び認知症と診断される方の全てがピークを迎えると予想されることと併せて、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるため、医療、福祉、介護、子育て、住宅、公園等の機能やワンストップの相談窓口を整えた、「農村型コンパクトエコタウン構想」により、安心して暮らし続けられる町の実現を目指したいと考えております。

6月上旬には、町内数か所にて「町民ふれあい懇談会」を開催いたしましたが、その中で本整備構想をご説明させていただき、町民皆様からご意見を伺ったところであります。

今後につきましては、国の補助金・交付金等の動向や町の財政状況を勘案し、10年後の後期高齢者数、介護認定者数のピーク時に住民が困らないような町とするために、皆様のご理解を得ながら進めたいと思っております。

★沼田町人口ビジョン及び沼田町総合戦略の策定について

昨年5月に日本創生会議より、若年女性人口（20歳から39歳までの女性人口）が2040年に50％以上減少する自治体について、「消滅可能性都市」として発表されました。

少子高齢化に的確に対応し、人口減少への歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、「まち・ひと・しごと創生法」が制定さ

平成２７年度
町政執行方針概要

れました。

市町村においては、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案して、地方公共団体における人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」、及び地域の実情に応じた今後5か年の施策の方向を提示する「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に努めることになっております。

総合戦略の策定にあたっては、住民や産官学金労言で構成する推進組織でその方向性や具体案について審議・検討するなど、広く関係者の意見が反映されることが重要なことから、去る5月21日に、「第1回沼田町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を開催いたしました。

今後の策定作業にあたりましては、若い世代や子育て世代等からも意見を聞く機会を設けるとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議や、議会地方創生調査特別委員会からのご提言をいただきながら10月末までに策定してまいりたいと考えております。

★移住定住の促進について

移住定住対策につきましては、平成26年度までの16年間制度の拡充を図りながら運用し、この間新築住宅は89件、中古住宅取得では32件の実績となり、内10世帯21名の方々が移住に結び付いた結果となり、移住促進や地域の活性化に対して一定の効果があったものと考えております。

今年3月末をもって移住定住促進条例が失効していることから、新築住宅や中古住宅取得奨励制度とリフォーム事業を継承しつつ、子育て世帯に対して手厚い支援制度を創設した「沼田町住んで快適暮らして満足移住定住応援条例」を提案いたしております。

また、子育て支援策として高校生1人当たり年額12万円の高校生応援手当を実施中ですが、新たに沼田町から町外へ通勤している世帯主の経済的負担を支援する為、中学生以下の子育て世帯に対して通勤費の一部を支援する「子育て応援通勤支援事業」や町外から町内企業へ通勤されている方が町内に転入する際、引っ越し費用の一部を支援し、移住へのきっかけづくりとなるよう「町外通勤者移住後押し支援事業」を実施する所要の経費を予算計上いたしております。

★商工業の振興について

近年の商工業を取り巻く環境は、多様化する消費者のニーズ、価格競争の激化及び近隣の大型店への消費の流失等、地元商工業者に極めて大きな影響を及ぼしております。

特に近年では中心市街地の空き地や空き店舗が発生してきており、今後も更に増加が予想されることから、魅力あるまちづくりを促進するため、「ひと・まち・しごと育成支援事業」を創設し、まちの資源を活用し人財の育成事業や産業の活性化、雇用創出の支援など町の活性化につながる新たな事業等を行う者に対し助成を行うため、所要の経費を予算計上いたしております。

また、商店街中核施設整備に向け、3月の町民説明会以降、商工会・JA・町の三者で協議を重ね、先日建設候補地をJA沼田支所敷地で進めることで合意し、6月3日から6月6日までの町民ふれあい懇談会にて説明させていただいたところであります。

今後は、新会社の設立や運営計画の策定、株式会社道北アークスの出店に向けた諸条件の細部調整等を行い、施設整備に向けた準備を進めてまいります。

★子育て支援について

6月1日より、子育て世代に係る支援体制の充実を図るため、「子育て支援推進室」を設置いたしました。

子育て満足度日本一のまちづくりを旗印に、子育て世帯の方々の経済的負担の軽減と、子供たちの健やかな成長を支援するため、以下の3事業について新規・拡充することとし、所要額を補正予算に計上いたしております。

新規事業であります「子育て世帯暖房費助成事業」につきましては、本町は道内有数の積雪寒冷地であることから、地域特性に配慮した事業として、暖房費の一部を支援し、子育て環境の充実を図ってまいります。

「乳幼児等任意予防接種事業」につきましては、任意接種であります「ロタウイルスワクチン」「B型肝炎ワクチン」「流行性耳下腺炎ワクチン」「日本脳炎ワクチン」の、4種のワクチン接種を助成することとし、経済的負担軽減を図ってまいります。なお、実施にあたっては、対象世帯への個別通知と併せて、説明会を開催してまいります。

「沼田保育園にかかる保育料」につきましては、既に国基準の所得8階層を本町独自に所得状況に応じた細分化を図る15階層とし、更に30％の軽減率を乗じた額として取り組んでおりましたが、保育に欠ける世帯への支援拡充を図ることとして、軽減率を50％として取り組んでまいります。

なお、平成26年度繰越明許予算事業であります「地域活性化・地域住民生活等緊急支援事業」子育て応援クーポン事業につきましては、対象世帯へ通知を行い6月1日より交付を開始しております。

★認定こども園整備について

認定こども園の施設整備につきましては、国に対し補助金の交付申請中であり補助金交付内示をもって、社会福祉法人沼田保育園が早急に契約締結できるよう連携し取り進めております。

また、来年4月の開園に向けた運営協議につきましても社会福祉法人沼田保育園及び、教育委員会などの関係機関との運営協議会を設置し、これまでの児童福祉と幼児教育を融合した、良質な子育て環境の提供に向け取り組んでおります。

★防災体制の充実について

近年、全国各地で大雨や地震などの災害が発生し、多くの方が犠牲になっております。いつ何時起こるか予測できない災害等から、町民の尊い命を守るため、確実な情報をいち早く伝達できるよう、町では平成25年度において農村部の各世帯を対象に、老朽化した防災無線機の更新事業を行いました。

本年度においては、まだ更新されていない市街地区の世帯を対象に防災無線機の更新事業を実施させていただくとともに、屋外にいる場合であっても沼田町内エリアにいる方であれば誰もが携帯電話を通じて避難勧告・指示等の情報を受信することができる、緊急エリアメールの整備を予定しており、災害等から町民ひとり一人を守るための対策を講ずるとともに、防災意識の高揚を図るための取り組みを推進してまいります。

地方を取り巻く環境が急速に変化している今日、地域資源の中における「人」の重要性が高まっております。

福祉、教育はもちろん、産業や文化における地域資源も「人」という資源があって、初めてそれらが生きる原動力となります。

そのための職員の資質の向上を図ることは何よりも重要な課題であり、日常的な研修を充実させ、常に問題意識を持ち、町民目線での施策を考え、的確に実行する能力を有する職員の育成に努めてまいります。

町づくりの基本は、町民との対話と相互理解で進めることが大切であり、意見が自由に言える町づくりを進める必要があると考えております。

本年が沼田町の新たな時代への創造と挑戦の第一歩として町政運営に全力で取り組んでまいる決意であります。

議員各位並びに町民の皆様のご支援とご協力を重ねて心からお願い申し上げ所信といたします。

「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」

平成２７年度教育行政執行方針概要

今日、社会が急速に変化する中で、未来を担う子ども達が夢と希望を持ち、主体的に未来を切り開く事が出来る様、教育にはその基盤となる学力や体力、豊かな心の育成が強く求められております。

そうした中、国においては「教育再生」の名の下、各種教育制度や学習指導要領等の見直しが進められ、また、全国各地においても工夫を凝らした様々な取組みが精力的に展開されております。我々としてはそうした状況をしっかりと捉えながら、周りから取り残される事の無い様、的確な取り組みを確実に進めて行かなければなりません。

3月10日に開催された第1回議会定例会で、生沼教育長が平成27年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

時代の変化に伴い人々の価値観やライフスタイルが多様化して来ている中で、生きがいを感じながら心豊かな人生を送るためには、町民一人ひとりが生涯を通して学び続ける事の出来る環境づくりが必要であり、それを担う社会教育の役割は一層重要性を増して来ております。

加えて、今、地方創生に向けた議論が活発化して来ておりますが、魅力ある教育の展開は地域の将来を担う人づくりと共に、新たな人の流れを呼び起こす大きな力にもなるものと認識しております。

まちづくりにおいて、教育の果たす役割は極めて大きく、教育委員会と致しましては、こうした認識の下、子どもからお年寄りまでの全ての町民が夢と希望を持ち、沼田町民である事に誇りを感じながら、住み続ける事の出来るまちづくりを目指して、沼田町総合教育計画に示された「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」のために、各種施策を積極的に展開して参ります。

★一貫連携教育の推進

この取組みについては、平成25年度から3年を掛けて一定の形を作る事として、これまで研究と実践を重ねて来たところですが、既に幼小中の10年間を見通した系統表の作成や乗り入れ授業、合同授業、体験登校、各種交流活動等の具体的取り組みが始まっており、また、運動会の小中合同開催についても実施の方向で検討を進めているところです。

今後取組みを進めるにあたっては、26年度において本町並びに沼田小中学校が道教委による「小中連携・一貫教育実践事業」の指定（指定期間3年）を受けた事で、現在道教委からより濃密な指導・支援を受ける形が出来ており、教職員の皆さん方にはそのメリットを活かしながら、研究・実践活動を続けていただく他、先進事例調査等にも参加いただく等して、取組みの効率的、効果的な推進及びその定着を目指して参ります。

特に新年度は当面の目標として来た3年目の年として、秋には公開研究大会を開催する事としております。これまでの成果発表の他、「一貫連携教育」と言う沼田ならではの新たな教育スタイルを町内外に示す大事な機会である事を踏まえ、次への足掛かりとなる実り多い研究大会となります様、関係者が一丸となって準備を進めて参ります。

なお、小中一貫教育については、中央教育審議会が国に対し、その制度化を答申しており、今後はその事を見据えた次なる対応についても検討を進めて行きたいと考えております。

一方、家庭での取り組みにつきましては、保護者を中心とする「家庭地域部会」が学校や家庭、我々行政との連携の下、生活習慣、学習習慣の改善を中心に活動を進めて下さっております。

今後においても、子ども達のより良い成長に繋がる適正な生活スタイルの構築に向け、新たな課題である体力の向上や情報機器使用への対応も含めて、引き続き努力を重ねて参ります。

★国際化への対応

国際化の進展と共に英語力が一層重要視され、次期の学習指導要領においても英語教育の有り方を見直す考えが示されております。

我々としてもこうした動きを踏まえ、引き続き外国語指導助手を配置して効果的な授業づくりに努める他、幼小中一貫連携教育による英語授業の高度化や中学生全員による英語検定の受験等により、児童生徒の意識とやる気を高め、その確かな定着を図って参ります。

また、本年来町が予定されているカナダポートハーディ地区の皆さんとの交流機会等も活用しながら、国際感覚の醸成に努めて参ります。

新年度の教育予算につきましては、町財政も厳しい状況ではありますが、町理事者のご理解の下、最大限の計上をいただきました。

社会の変化と共に、人々のニーズや価値観が多様化する中で、教育を取り巻く環境も大きく様変わりして来ております。課題も山積ではありますが、住民の皆様の大きな期待を強く受け止め、明るく希望に満ちたまちづくりに向かって職員共々全力で取り組んで参る所存であります。

町民並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、平成27年度における教育行政執行にあたっての所信と致します。

平成２７年 政策事業概要

「住んでいる人」「住みたいと思っている人」沼田町は全ての人を応援します

地域産業の活性化

◆ぬまた農業の維持・発展◆

■高収益作物生産条件整備推進事業【新規】■

現在行われている主食用米の生産調整及び経営所得安定対策については平成３０年度を目途に廃止予定であり、将来にわたる本町農業の持続・発展のためには高収益作物を経営に取り入れた複合化による所得確保が重要ですが、現状においては労働力確保が課題となっていることから、経費の一部助成を行い複合化の推進を図ります。

①助成対象者　花卉又は野菜をハウスにより新たに栽培、増棟する方
②助成対象経費　外部から人材を雇用するために要した経費
③補助率等　補助率　1/２以内・上限額１０万円
④事業期間　平成２７～２９年度（３年サンセット）

■農業生産技術等導入実証費助成事業【新規】■

水稲を初めとする農産物の低コスト生産や、新たな技術等の導入を促進するため、現地実証試験に要する経費に対し一部助成を行います。

また、現地実証試験の結果の公表を行い、その成果を町内において共有することにより普及を目指します。

①助成対象者　町内に新たに作付導入しようとする作物若しくは技術等の現地実証実験に取り組む方
②助成対象経費　上記、現地実証実験に要する経費
③補助率等　補助率：1/２以内
上限額：１経営体５万円/10a
補助総額：１経営体５０万円（1ha）
④事業期間　平成２７～２９年度（３年サンセット）

◆活力あふれる「ぬまた」◆

■ひと・まち・しごと育成支援事業【拡充】■

４年サンセット事業として平成２６年度末で失効した「まちづくり活性化支援事業」を従来事業について継続しつつ、「地域資源」を活用して事業化に取り組む者に対する一部助成を追加し制度の拡充を行います。

①助成対象者　地域の資源を活用し、地元金融機関から融資を受けて事業化に取り組む方
②助成対象経費　備品購入費・機械購入費・改修経費
③補助率等　補助対象：総事業費から融資額及び自己資金を控除した額
補助率：9/10 以内
限度額：５００万円
④事業期間　平成２７～３０年度（４年サンセット）

移住定住

◆ずっと住みたい「ぬまた」◆

■住んで快適暮らして満足移住定住応援事業【拡充】■

４年サンセット事業として平成２６年度末で失効した「移住定住応援事業」を見直し、「若者」「子育て世帯（中学生以下）」の持ち家取得に対する支援を拡充し、移住定住の促進を図ります。

区分	新規事業		旧事業
住宅新築	２０歳代	１７０万円	５０万円
	３０歳代	１３０万円	
	４０歳以上	５０万円	
土地購入		３０万円（１年以内に住宅新築）	３０万円（１年以内に住宅新築）
町内業者		７０万円	７０万円
融雪溝沿線		１５０万円	１５０万円
中古住宅		５０万円（限度）	５０万円（限度）
※子育て世帯（中学生以下）が住宅取得と同時に改築する場合、２００万円以上　の工事費に対して５０万円を加算			
中古住宅取壊し新築		１００万円（限度）	１００万円（限度）
住宅リフォーム		２５万円（限度）	２５万円（限度）
子育て世帯		５０万円／人	－
※子育て世帯（中学生以下）が住宅を新築する場合			
融雪施設		２０万円（限度）	２０万円（限度）

※２世帯住宅に対する助成は制度見直しにより「廃止」しました。

例）２０代で中学生以下の子ども２人の世帯が町内業者で融雪溝沿線に土地を取得して住宅を新築した場合
計算式　１７０万円＋５０万円×２人＋７０万円＋１５０万円＋３０万円＝５２０万円

■移住支援事業【新規】■

町外居住で町内企業に勤務している（する）者が、沼田町に転入する場合に**「転入費用」**の一部を助成し経済負担を軽減することにより本町への移住定住を促進します。

①中学生以下の子どもを養育する子育て世帯　１０万円
②上記以外の世帯　５万円
※町内でのみ利用可能な「商品券」で支給します

■子育て世帯通勤支援事業【新規】■

町内居住で町外企業に勤務している（する）世帯主で、中学生以下の子どもを養育する者に対し**「通勤費用」**の一部を助成し経済負担を軽減することにより本町への移住定住を促進します。

①助成額　通勤距離により　年額 18 ～ 72 千円
※町内でのみ利用可能な「商品券」で支給します

◆安心して子育てできる「ぬまた」◆

■乳幼児等任意予防接種助成事業【拡充】■

乳幼児等の予防接種費用の助成対象を拡充し、り患・重症化予防、負担軽減を図ることにより安心して子育てできる環境を整えます。

ロタウィルスワクチン予防接種	重症例：脱水症・脳炎・腸重積症
Ｂ型肝炎ワクチン予防接種	重症例：肝臓がん（将来）
流行性耳下腺炎ワクチン予防接種	重症例：無菌性髄膜炎・脳炎
日本脳炎ワクチン予防接種	重症例：意識障害等の重篤な後遺症

■沼田保育園保育料の軽減対策【拡充】■

従来、国基準の保育料に対し３０％の軽減を実施しておりましたが、軽減率を拡大し「５０％」軽減を実施し子育て世代の負担軽減を図ります。

■子育て世帯冬季暖房経費助成事業【新規】■

本町は北空知管内でも有数の積雪寒冷地であることから、中学生以下の子どもを養育する世帯に対し冬季暖房費の一部を助成し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

①助成額　　１世帯につき１万円

※町内でのみ利用可能な「商品券」で支給します

◆元気で笑顔あふれる「ぬまた」◆

■前立腺がん検診事業【新規】■

近年、国内での前立腺がん患者数は他のがんを上回る増加率となっており、初期にはほとんど自覚症状がないといわれており、早期の検診が重要となることから新規に検診事業として実施します。

①対象者　　５０歳以上の男性

②個人負担　　１，０００円（生活保護・住民税非課税世帯・７０歳以上は無料）

■沼田厚生クリニック医療機器整備事業【新規】■

外来患者や人間ドックでの血液検査を行う「臨床化学自動分析装置」は平成１３年の導入後、１０年以上を経過しており、一部使用に不具合を生じていることから、機器更新に補助を行います。

また、各種健診結果のデータ管理を行うシステムの導入についても補助を行い町民が安心できる医療環境の確保を図ります。

◆高齢者が安心して生活できる「ぬまた」◆

■高齢者世帯等除雪費助成事業の改正【拡充】■

玄関前・屋根窓の除雪を業者委託した場合に費用の一部を助成しておりましたが、所得要件を緩和し「均等割のみ」世帯も対象とし負担軽減を図ることとしました。

①補助率等　非課税世帯　　１／２・２万円限度（変更なし）

　　均等割のみ世帯　１／４・１万円限度（新規）

※年齢・身体の状況等による要件に変更はありません。

■介護予防事業（認知症対策）■

現在、高齢者の４人に１人は認知症又は予備軍といわれており、今や誰もが関わる可能性のある身近な病気です。

認知症の早期発見は、在宅で安心して生活するためにも非常に重要であることから、「高齢者元気１００倍教室」等の介護予防教室で参加者を募り、高齢者でも操作できる簡単なソフトを活用して自己診断を行っていただき、診断結果に応じた対応を「地域包括支援センター」とも連携して行っていきます。

◆災害に強い「ぬまた」◆

■防災無線戸別受信機整備事業■

災害発生時における情報伝達手段の基幹システムである「防災無線」は、平成２５年度に親局（役場庁舎）、市街地ハンザマスト、中継局（共成・恵比島）及び農村地区等の戸別受信機の更新を実施しておりますが、市街地の戸別受信機は設置以来２０年が経過しており機器の老朽化も進んでいることから更新を行い、安定的な情報伝達環境の確保を図ります。

○事業概要　市街地戸別受信機更新　１，０００戸

■緊急エリアメール配信事業■

緊急エリアメールとは、災害などの緊急時において各携帯電話事業者のネットワークを介して、携帯電話に一斉配信するサービスです。本町に住まわれている方のほか、一時的に受信可能エリア内にいる町外からの通勤者・旅行者等にも情報提供されます。

配信する情報は、生命に直結する緊急性が高い災害・避難情報で「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」などが主となります。（申し込み不要・通信料等無料、受信設定が必要な機器あり）

また、現在行っている「メールぬまた」での情報発信は従来どおり継続し加入促進を図ります。

平成２７年
政策事業概要

平成26年度下半期 町の財政状況公表

この説明書は、みなさんから納めていただいた税金や国・道からの補助金がどのように使われているかをお知らせし、町財政の実態と施策にご理解をいただくため年２回定期的に公表を行っているものです。

今回は、一般会計のほか特別会計の平成２６年度下半期の財政運営の状況や町税の負担状況、基金及び借入金（町の借金）の状況、また、公営企業の経理状況についてその概要をお知らせします。

なお、今回掲載しました町の財政状況については、役場総務財政課で閲覧することができます。

一　般　会　計

平成２６年度下半期（１０月～３月）における主な補正としては、国の交付金を活用した地域活性化・地域住民生活等緊急支援事業（プレミアム付クーポン券発行事業、沼田町子育てファミリーサポート住宅整備事業等）の予算計上をしました。

また、将来の財源を安定的に確保することから、基金の積立に、財政調整基金、振興基金、地域医療確保安定化基金を計上しております。

なお、公債費の繰上償還を実施し、将来の町民負担軽減を図りました。

期間中総額３億１，４７３万円の予算補正を行い、３月末における予算額は４６億６，１８５万円となりました。

■歳　入

下半期における歳入の予算補正の状況は、地方交付税等一般財源の増額、国庫支出金の増額となっており、合わせて基金繰入金の減額補正を行っております。歳入については、歳出の補正に伴う特定財源の充当整理が主な内容です。

（単位：万円）

区　分	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予　算　額	構成比（%）
町税	3 億 2,606	－	△ 336	3 億 2,270	6.9
地方譲与税	5,600	－	129	5,729	1.2
利子割交付金	80	－	△ 9	71	－
配当割交付金	20	－	131	151	－
株式等譲渡所得割交付金	10	－	71	81	－
地方消費税交付金	4,000	－	315	4,315	0.9
ゴルフ場利用税交付金	100	－	－	100	－
自動車取得税交付金	600	－	97	697	0.2
国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,200	－	27	1,227	0.3
地方特例交付金	40	－	53	93	－
地方交付税	21 億 1,478	△ 5,915	4 億 2,250	24 億 7,813	53.2
交通安全対策特別交付金	70	－	2	72	－
分担金及び負担金	8,031	28	△ 176	7,883	1.7
使用料及び手数料	8,508	－	△ 133	8,375	1.8
国庫支出金	1 億 4,191	1,380	4,144	1 億 9,715	4.2
道支出金	2 億 5,354	1,363	545	2 億 7,262	5.9
財産収入	1 億 5,850	－	833	1 億 6,683	3.6
寄附金	5,120	2,000	△ 589	6,531	1.4
繰入金	1 億 6,070	2 億 2,239	△1億4,641	2 億 3,668	5.1
繰越金	500	1 億 1,738	－	1 億 2,238	2.6
諸収入	1 億 592	629	△ 320	1 億 901	2.3
町債	3 億 9,980	1,250	△ 920	4 億 310	8.7
計	40 億	3 億 4,712	3 億 1,473	46 億 6,185	100.0

■歳　出

下半期における歳出の予算補正については、今後の財政安定が図れるよう公債の繰上償還、基金の積立等を実施したところです。

（単位：万円）

区　分	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予　算　額	構成比（%）
議会費	4,424	12	29	4,465	1.0
総務費	3 億 3,146	4,628	2,546	4 億 320	8.7
民生費	5 億 3,408	1,576	△ 776	5 億 4,208	11.6
衛生費	1 億 7,753	2 億 2,058	△ 786	3 億 9,025	8.4
労働費	1	630	△ 315	316	0.1
農林水産業費	5 億 2,963	2,740	△ 1,696	5 億 4,007	11.6
商工費	6,659	39	31	6,729	1.4
土木費	5 億 3,881	565	△ 258	5 億 4,188	11.6
消防費	2 億 5,734	－	△ 890	2 億 4,844	5.3
教育費	3 億 7,669	464	△ 1,127	3 億 7,006	7.9
公債費	4 億 3,091	－	9,347	5 億 2,438	11.3
諸支出金	8,143	2,000	2 億 4,474	3 億 4,617	7.4
職員費	6 億 2,974	－	894	6 億 3,868	13.7
災害復旧費	54	－	－	54	－
予備費	100	－	－	100	－
計	40 億	3 億 4,712	3 億 1,473	46 億 6,185	100.0

下半期における予算補正の主な内容

（単位：万円）

区分	補正額	補正額の主な内容
議会費	29	議員共済費負担金の増
総務費	2,546	地域活性化・地域住民生活等緊急支援事業の増、社会保障・税番号システム改修及び総合行政基幹システム移行委託料の減、再生可能エネルギー導入可能性調査委託料の減
民生費	△ 776	介護給付費の増、老人福祉施設措置費の増、障害者自立支援給付費・児童施設措置費・医療費の増、臨時福祉給付金の増、保育所運営委託料の減、認定こども園整備事業の減
衛生費	△ 786	上水道事業会計繰出金の減、各種検診・予防接種委託料の減
労働費	△ 315	緊急雇用創出推進事業経費の減
農林水産業費	△ 1,696	農産加工場製造費（外構整備工事）の減、就農支援実習農場負担金の増、強い農業づくり事業補助金の増、 経営体育成基盤整備事業負担金の減、農業総合対策各種補助金の減
商工費	31	機械器具費の増（観光情報プラザ待合室ストーブ）
土木費	△ 258	町道除雪業務委託料の増、道路工事費の減、除雪機械購入費の減
消防費	△ 890	深川地区消防組合負担金の減
教育費	△ 1,127	北空知圏学校給食組合負担金の減
公債費	9,347	長期債繰上償還元金の増
諸支出金	2 億 4,474	基金積立金の増（財政調整基金、振興基金、地域医療確保安定化基金）、ふるさとづくり基金積立金の減
職員費	894	職員給与費の増
計	3 億 1,473	※それぞれの予算の不用となった額を減額補正しております。

ゆめっくる前がきれいになりました

中学生ボランティアが花の定植

6/12

６月１２日（金）花の植栽が、生涯学習センター前で行われました。

この植栽は、自治振興協議会（石田隆広会長）のグリーンルーラル事業の一環として行われたもので、作業には協議会役員のほか沼田中学校のボランティアのほか先生方も参加し、ペチュニアやマリーゴールドなど約１，０００本の花々を使ってゆめっくる前の花壇に定植を行いました。

▲定植する中学生ボランティア

元気にがんばりました

沼田幼稚園で運動会

6/14

６月１４日（日）、沼田幼稚園（本庄修園長）で最後となる運動会が行われました。

開会式で本庄園長は「この日までの約３週間、子どもたちは運動会の練習にしっかり取り組みました。保護者のみなさん、大きな声援を送ってください」と、会場に駆け付けた児童１３名の保護者に挨拶。

運動会が始まると、定番の玉入れや大玉転がし、リレーなどを元気ハツラツにプレー。保護者や祖父母と一緒に取り組む競技も楽しそうに行っていました。

▲元気一杯の園児たち

■特別会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

（単位：万円）

会計別	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予算額
養護老人ホーム	2 億 6,334	2,000	377	2 億 8,711
特別養護老人ホーム	3 億 3,963	31	△ 336	3 億 3,658
高齢者グループホーム	4,311	77	△ 25	4,363
国民健康保険	5 億 618	3,608	△ 253	5 億 3,973
介護保険	3 億 3,843	532	1,089	3 億 5,464
後期高齢者医療	6,169	27	△ 500	5,696
公共下水道	2 億 408	290	△ 294	2 億 404
合計	17 億 5,646	6,565	58	18 億 2,269

■公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

（単位：万円）

会計名	区分		当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予算額
水道事業会計	収益的	収入	1 億 6,383	△ 6	△ 1,474	1 億 4,903
		支出	1 億 6,383	△ 6	△ 1,474	1 億 4,903
	資本的	収入	231	―	―	231
		支出	3,401	69	―	3,470

※特別会計と公営企業会計は、税、使用料、負担金、国、道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

■町税の負担状況

人口 3,267 人（平成 27 年 3 月末）

税区分	予算額（万円）	構成比（%）	町民 1 人あたり（円）
町民税	1 億 4,967	46.4	45,812
固定資産税	1 億 3,257	41.1	40,580
軽自動車税	827	2.6	2,531
たばこ税	2,109	6.5	6,455
入湯税	1,110	3.4	3,398
合計	3 億 2,270	100.0	98,776

■借入金の状況（一般会計）

（単位：万円）

平成 25 年度末現在高	平成 26 年度中		平成 26 年度末現在高見込額
	償還元金見込額	新規借入見込額	
30 億 6,475	4 億 8,289	3 億 8,520	29 億 6,706

■基金の状況

（平成 26 年度末現在高見込額）

基金（一般会計）28 億 5,640 万円	
・財政調整基金	4 億 8,600 万円
・減債基金	6 億 4,650 万円
・振興基金	7 億 1,582 万円
・ふるさとづくり基金	2,768 万円
・みどりの景観等保全基金	1,152 万円
・自動車学校基金	46 万円
・移住定住応援基金	581 万円
・社会福祉基金	9,568 万円
・農業振興基金	1 億 4,746 万円
・農地流動化基金	1,083 万円
・企業等誘致推進基金	3,359 万円
・商工観光振興基金	1,104 万円
・スコーレ基金	1,358 万円
・青少年スポーツ文化振興基金	87 万円
・地域医療確保安定化基金	4 億 3,175 万円
・学校教育振興基金	2 億 484 万円
・農業者人材育成基金	692 万円
・奨学資金貸付基金	605 万円

美味しく育ってね

小学４年生がメロンの定植

6/16

▲苗を定植する児童

６月１６日（火）更新地区の辻農場内において、沼田小学校４年生のメロン体験学習が行われました。この学習は町内の農家女性により結成された「農天気の会（藤村富士子代表）」が主催し、子どもたちに農業の良さや、食べ物の作られる過程、食べ物を大切にすることで、生き物へのやさしい心を養ってもらうことを目的に毎年実施しています。この日は、秋の収穫作業に向けての苗の定植作業を行いました。

小学生たちは農天気の会会員の指導を受けながら、１本ずつ丁寧に植込んでいました。

また、定植後には質問タイムが設けられ、「メロンは植えてからどれくらい経てば実がなるの？」「メロンの種類は何種類あるの？」といった質問が飛び交い、興味深そうに話を聴いていました。

環境美化のために

富岡産業が除草ボランティア

6/17

▲機械できれいに除草する富岡産業の社員

６月１７日（水）、深川市に本社を置く富岡産業（株）（富岡正幸代表取締役）が、町内で除草ボランティアを実施いただきました。

富岡産業は、幌加内トンネルから沼田町民体育館までの国道の年間維持や、高規格道路の工事を請け負うなど、沼田町と縁があり、昨年から実施いただいています。

この日は作業員が沼田町を訪れ、刈払機を使って南町の職員住宅前の用水路から下水処理施設までの区間の草を丁寧に刈り取っていました。

きれいな花のプレゼント

日本緑化中村が花の寄贈

6/19

６月１９日（金）に日本緑化中村（株）（中村剛代表取締役）より、町民パークゴルフ場に花を植えたプランター７０個を寄贈いただきました。

毎年恒例となったこの活動は、今年で６回目を数えます。プランターはクラブハウス前に設置され、パークゴルフ場に綺麗な彩りを添えていました。

▲きれいな花が咲いているプランター

沼田の開拓の祖

沼田喜三郎翁の開祖記念碑落成

6/25

▲完成した記念碑の前で

６月２５日（木）富山県小矢部市で沼田喜三郎翁の開祖記念碑の除幕式が執り行われました。

昨年、町民有志の方々が開祖記念碑建立にかかる寄付を町民に呼びかけ、集まった寄付で小矢部市にある沼田喜三郎翁の累代の墓に記念碑を建立しました。

当日は沼田町から金平町長、渡邊議長、吉住建設実行委員長を始め９名が小矢部市を訪問し、除幕式を執り行いました。

除幕式には小矢部市の桜井市長も出席し、「これからも記念碑とお墓を守っていきたい、沼田町の皆さんに感謝したい」と祝辞を述べられていました。

青空の下で開催

沼田保育園で運動会

6/28

６月２８日（日）、沼田保育園（土肥芳子園長）で第６２回目の運動会が園庭で開催されました。

園児は玉入れや綱引きなどの運動会の定番種目などを元気いっぱいに行い、保護者と一緒に行う競技も行われ園児たちは満面の笑顔で走り回っていました。

保護者の応援席からも「がんばれ～！」と園児を応援する声が盛んに飛び交い、青空に負けない明るい雰囲気の運動会となりました。

▲笑顔があふれる運動会でした

沼田町の将来は？

長生クラブが町と懇談会を開催

6/30

▲町からの説明を行う様子

６月３０日（火）長生クラブ（野道夫会長）が町と懇談会を開催しました。

懇談会には約４０名の会員が参加し、長生クラブから出された質問事項について町の担当課長からそれぞれ資料等を使いながら説明を行いました。懇談会ではコンパクトエコタウン構想に関連した地方創生に関する疑問などが出され、幅広い議題について意見交換を行いました。

長生クラブの会員からは「温泉の利用促進につながるいいアイデアを絞ってほしい」など積極的な意見交換が行われました。

大人も子供も白熱しました

第４２回町民運動会を開催

7/5

７月５日（日）第４２回町民体育祭が小学校グラウンドで開催されました。

開会式で金平町長が「今年も町民体育祭を通じて地域での親睦を図って欲しい。」とあいさつ。続いて、前年優勝の緑組の押切さんと田村さんが選手宣誓を行いました。

今年は「防災○×クイズ」や「防災障害物競争」といった防災を意識した新たな競技が加わり大人も子供も競技に参加し汗を流していました。結果は昨年に続き緑組が優勝し２連覇を達成しました。

▲２連覇を達成した緑組

沼田町では１０年ぶり

第６７回北空知連合消防演習

7/10

▲分列行進の様子

７月１０日（金）役場前駐車場において、第６７回北空知連合消防演習が沼田町では１０年ぶりに行われました。開会式において金平町長から「地域の総力を結集して防災力の強化に務め、北空知の安全、安心を確保するため、消防団の皆様には日夜を問わず住民の生命、財産の保全をいただいていることに感謝しています」との挨拶がありました。

演習では、１市４町の消防団員がポンプ車を使用したポンプ操法訓練や、分列行進などを実施しました。

きれいな街のために

北央道路工業がボランティア

7/10

７月１０日（金）北央道路工業株式会社（澤口二朗代表取締役社長）が、幌新地区のすずらん駐車公園からほろしん温泉ほたる館の約４．５キロメートルにわたり、草刈とゴミ拾いボランティアを実施いただきました。

同社は、ほろしん温泉ほたる館で開催されている「ほたる祭り」に合わせて毎年草刈りボランティアを実施していただいており、今年で８回目を数えます。

作業は約２０名ほどで行われ、見る見るうちに雑草が刈り取られていきました。

▲沿線のゴミ拾いを行う様子

ふれあい information

お腹の中から食育 !!

マタニティクラブ

６月 16 日に沼田町の妊婦さんの交流会であるマタニティクラブを開催しました！

内容は妊娠中の生活や食事、試食会、赤ちゃん人形抱っこ体験など盛りだくさん。離乳食を見据えただしの飲み比べでは、市販だしと天然だしの違いを改めて実感。「塩分に気を付けよう」「１番だしがおいしい」など、いろいろな言葉が聞かれました。

お母さんの食事は赤ちゃんに影響します！

主食･主菜･副菜を中心に、食事のバランスを意識しましょう !!

主菜
肉・魚・卵・豆腐など

副菜
野菜・海藻・きのこなど

主食
ご飯・パン・麺類など

《鉄分の多い食品》
・大豆製品（納豆など）
・肉、魚、野菜
（レバーなど）

特に、現代の日本人の食生活は野菜・カルシウム・鉄分が不足気味です・・・
食べ物から積極的に取り入れるようにしましょう！！

エキノコックス症検診

沼田町では、エキノコックス症の早期発見を目的に、エキノコックス症検診を実施しています。感染から発症までに 10 年～ 15 年かかるため、小学校３年生以上の町民に検診をお勧めしております。

下記の対象者に該当される方は是非受診下さい。

対 象 者：①小学３年生以上で過去５年間検査を受けていない町民（※高校生以下は保護者同伴願います。）
②市内５、市内６、市内７、西町、旭町東、旭町西地区在住の町民（５年前に受診を勧めた地区）
日　　時：平成 27 年７月 30 日（木）　13 時 15 分～ 15 時 30 分
場　　所：沼田厚生クリニック（※申し込み不要。当日直接来院願います。）
検査内容：血液検査（採血検査）
検査料金：無料

保健福祉課健康グループ　☎　35-2120【担当：三田・佐藤】

沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice ☎ 35-3110

《 警察官採用試験の受験申込書を配布中です 》

平成 27 年度(第２回)北海道警察官採用試験の受験申込書受付期間は８月 11 日から８月 26 日までとなっており、１次試験は９月 20 日に行われる予定です。来春卒業予定の高校生も受験可能です！「パンフレットをみたい」、「興味がある」という方はお気軽にお問い合わせ下さい。

夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化 ～　考えて　大切な　自分の未来　～

○たばこは非行の入り口

たばこは、ゲートウェイドラッグ（入門薬物）と言われています。

未成年のうちからたばこを吸っていると、たばこに含まれる成分に身体が慣れてしまい、強い刺激を求めるようになります。

その結果、覚せい剤等の違法薬物や危険ドラッグに手を出してしまうこともありますので、未成年のうちから、たばこは絶対に吸わないようにしましょう。

○非行防止は家庭から！

・家庭は最も身近な社会です。社会のルールやマナーを守らせ、善悪のけじめをつけさせましょう。

・インターネットを利用して犯罪被害に遭わないために、家庭でのルール作りや情報モラルについて家族で話し合いましょう。

水難事故防止　～　海や川　危険もいっぱい　ご用心　～

□波の力で倒されたり、沖に流される危険があります。
水辺で遊んでいる子供の近くにいて、目を離さないようにしましょう。

□海水浴場などの指定された場所で、自分の技量や体力に応じて泳ぎましょう。

□体調不良時や飲酒しての遊泳は事故のもとです。無理をしたり、お酒を飲んで泳がないようにしましょう。

□釣りをするときには、救命胴衣を着用して安全な場所を選び、高波時の防波堤、流れの速い岸辺や滑りやすい岩場などはやめましょう。

□水上オートバイは、遊泳区域に入らないことと、遊泳者などに注意するなどの安全航行に努め、救命胴衣を必ず着用しましょう。

犯罪の発生状況

（平成 27 年５月末現在）

	空き巣	事務所荒し	出店荒し	万引き	置引き	鉄板盗	自動車・オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部品ねらい	詐欺	軽油灯油盗	その他	合計
平成 27 年		2											2	4
平成 26 年	1		1											2

交通事故の発生状況（平成２７年５月末現在）

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
平成 27 年	2	平成 27 年	２３
平成 26 年	3	平成 26 年	２８

町民が町外で第１当事者となった人身事故件数

平成 27 年	1
平成 26 年	0

（平成２７年５月末現在）

消　報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当☎ 35-2050

第２２回消防ちびっこ広場開催のお知らせ

８月８日（土）１３：３０から沼田町役場庁舎前にて第２２回消防ちびっこ広場を開催します。（今年は開催場所が変更になっています。）

消防ちびっこ広場は、子供のころから防災に関心を持ってもらうことを目的として毎年開催しています。

放水体験、消防車乗車体験等の各種体験コーナー、無料縁日コーナー、消防車展示コーナーなどたくさんのアトラクションや豪華景品を用意しておりますので、お子様から大人の方まで多数のみなさまのご来場をお待ちしています。

▲昨年のちびっこ広場の様子

☆ご来場お待ちしています☆

ルールを守って楽しい花火を！

夏の楽しみ花火、いよいよ子供たちにとって楽しみな季節となりました。しかし、夏の娯楽として家族で楽しめる花火も、取り扱いを誤ると、火災になったり、やけどをしたりするなど事故につながりかねません。次のことを守って、楽しい夏の思い出にしましょう。

①人や家にむけたり、燃えやすい物のそばで花火をしない。
②風の強いときは花火をしない。
③必ず水の入ったバケツを用意して、後片付けをする。
④子供たちだけで花火はしない。
⑤一度にたくさんの花火に火をつけない。

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

『後にしよう　その油断が　火事になる』

生涯学習

ゆめっくる

プログラム内容一新「いきいき大学」始まる

今年度も「沼田町いきいき大学」が開講となりました。いきいき大学は60才以上の方を対象に、6月から12月までの月1回、計7回の日程で毎年開催しているものです。今年度は、近年午前中で終わることが多かったプログラムを見直し、午後からの活動として「クラブ活動」や「日帰り見学旅行」を計画しています。7月1日現在の申込者数は121名で、6月29日（月）の開講式には98名もの方にご出席いただきました。

開講式では、生沼篤司いきいき大学長のあいさつに続いて渡邊敏昭議長から励ましの言葉をいただき、いきいき大学生代表の吉田慶子さんからは「明るくいきいきとした学習、趣味を広げる活動、健康増進の3つを目標に掲げ、有意義な生活を送れるよう努力したい」と話がありました。

開講式終了後、沼田警察署の岡田勝博署長から『「私は大丈夫」から「私は大丈夫だったよ」へ～特殊詐欺の被害に遭わないために～』と題してご講演をいただきました。講演は「なぜ警察という名前なのか」「警察が110番になった由来」から始まり、振り込め詐欺チェックリストや犯人と被害者の会話のやりとりの音声などを用いて、わかりやすくお話ししてくださいました。

講演の後は「町内見学ツアー」に出発しました。はじめに訪れた沼田町農産加工場では、今や沼田町を象徴する「トマトジュース」の始まりや近年の沼田町のトマト生産量の推移などについて説明を受けました。次の訪問先のショウワグリーンファームでは「洗わずに食べられる」「日本一きれいな培養液で育てた野菜」として注目を集めている「レタス」の工場を見学しました。試食させていただいたレタスは大好評で、大学生からは「買って帰って家族や友達に食べさせたい」との声がありました。最後に向かったほろしん温泉では、トマトやレタスが使われているおいしい昼食を楽しんで、この日の全日程を終了しました。

いきいき大学は年度途中からの入学も受け付けておりますので、ぜひお気軽にお申し込みください。いきいき大学に関するお問い合わせやお申し込みは教育委員会・富田まで。

（☎35－2132）

特別展 ヌマタネズミイルカ
～発見と研究とこれから～

発見30周年の特別展で、当時の資料を大公開します。7月25日、初日は展示解説を13時から当館学芸員が行います。

◆日程　7月25日から8月31日まで
◆場所　ほろしん温泉ほたる館ロビー
◆料金　無料

沼田町化石館
Numata Fossil Museum

司書のイチオシ！

『シンプル家事』

家や部屋の掃除はどのくらいの頻度で行っていますか？

家のことをしている方は毎日こまめに、仕事をされている方ですと掃除機は週に一度とかではないでしょうか。
忙しい日々でも、少しの掃除で気分も部屋もスッキリするなら毎日やりたいですよね。そこで今回は、家事や掃除が楽になるという本を紹介したいと思います。

掃除には色々な道具が必要ですが、家にある素材で簡単に掃除ができるのは知っている方も多いと思います。家にあるもので掃除というと、重曹や酢、せっけんを使うというのは有名ですね。重曹はあぶら汚れや脱臭に効果があり、酢はせっけん汚れや水あか・たばこのやにに効果があります。

家にあるもので掃除ができるのは魅力的ですが時短を求めている方には、専用の洗剤を使ってサッと掃除するのがおすすめです。また、掃除プランをたてて毎日掃除をすると土日にまとめて掃除をやるよりも楽に過ごすことができます。毎日少しずつでも掃除をすると大掃除の時も慌てることなく過ごせます。

掃除や暮らしに関する本は図書館にたくさんありますので、図書館に来館されたときはぜひ手に取ってみてください。

新刊図書

≪一般書≫

まんがでわかる７つの習慣　２～４巻	小山　鹿梨子
荻原博子のどんと来い、老後！	荻原　博子
家族という病	下重　暁子
夏の雷音	堂場　瞬一
美女千里を走る	林　真理子
花嫁は夜汽車に消える	赤川　次郎
踊り子と探偵とパリと	小路　幸也
朝が来る	辻村　深月
衣にちにち	群　ようこ
まったなし	畠中　恵

≪児童書≫

うちは精肉店	本橋　成一
君に届け　１３巻	白井　かなこ
ぐでたま―ぐでたまでみつけた！―	ささむら　もえる
とびばこバーン	升井　純子
３００００このすいか	あき　びんご
のってるのってる	石井　聖岳

新刊図書これがおすすめ!!

『ちゃんぽん食べたかっ！』　さだまさし

ドラマ化された涙と笑い満載の自伝的青春小説。高度経済成長期の東京。ヴァイオリニストになるという大志を抱き、長崎から上京した中学生の佐田少年。愛すべき悪友や恩師、ヘンテコな隣人との毎日のなか、直面する人生の挫折。夢を諦めた少年が選ぶ道とは？

『13歳の少女が見た沖縄戦』安田　未知子

1944年、13歳の少女の日々は沖縄戦によって一変しました。牛島中将の伝令役として、戦争に参加。度重なる空爆、目の前で次々と人が死んでいく光景、草木を食べ飢えをしのぐ毎日。83歳の沖縄のマザーテレサが語る沖縄戦の真実。

図書のネット検索できます！

昨年９月から図書館が新システムにかわり、インターネットで本の検索ができるようになっています。検索は、沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

http://blog.canpan.info/numakyoui/

NUMATA 広報ぬまた７月号
第590号（平成27年7月23日発行）

７月生まれのキラリ輝くぬまたっ子

横山　皓士（こうし）くん（６歳）

Cover －表紙の写真－

１０年ぶりに沼田町で開催された北空知連合消防演習でのでの一コマです。【７月１０日撮影】

人の動き
（平成２７年６月３０日現在）

人　口	３，２７５人	（前月比　△５　人）
男　性	１，５４０人	（前月比　△４　人）
女　性	１，７３５人	（前月比　△１　人）
世帯数	１，５５６世帯	（前月比　△５世帯）

■総人口増減内訳
増加）転　入：　５人　出　生：　３人
減少）転　出：１１人　死　亡：　２人

交通事故死ゼロ
（平成２７年７月２３日現在）

1,110 日継続中 !!

うぶごえ

出生児	誕生月日	両親の名前
上野桔平（きっぺい）くん	５月10日	正貴さん・舞さん
谷本桜（さくら）ちゃん	６月10日	寿浩さん・真紀さん
木村滉介（こうすけ）くん	６月23日	拓哉さん・佐江子さん
梅田栞菜（かんな）ちゃん	６月25日	美久さん・淳子さん

おくやみ

氏名	死亡月日	年齢	住所
木村　典生さん	６月28日	66歳	旭町西
中西　ウメさん	７月５日	84歳	高穂２

お詫びと訂正

前回の広報６月号１１頁で掲載しました「故千田猛氏に特旨叙位を伝達」記事内で、奥様のお名前が「千恵子さん」になっていましたが正しくは「智恵子さん」の間違いでした。ここにお詫びして訂正いたします。申し訳ございませんでした。

～広報担当のつぶやき～

実は私、双子です。知ってるという方もいるかと思いますが、実は二卵性の双子なんです。

なんでこんな事を言うかといいますと、表紙の写真に双子の兄が写っている写真を使っているので、言い訳のために書かせていただきました。

表紙の写真を選ぶとき、毎月何パターンか作ってみるんですが、今回は全てに双子の兄が写っていたので、あまり身内の写真は使いたくなかったんですが、今回表紙で使ってしまいました。ですので、温かい目で見てやってください。

広報情報グループ（川嶋）

■発行者　北海道雨竜郡沼田町長　金平嘉則　■編集　総務財政課広報情報グループ
〒078-2202　北海道雨竜郡沼田町南１条３丁目６番５３号
■TEL：0164-35-2111　■ホームページ：http://www.town.numata.hokkaido.jp/

この広報誌は再生紙と大豆インクを利用しています。